

小学校国語について

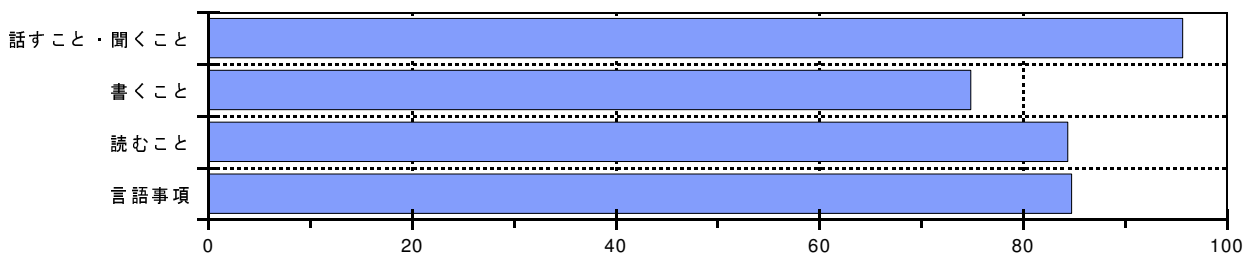
※本市のデータは、市学力対策委員会の採点によるものである。

国語A「主として知識に関する問題」の結果

領域ごとの調査結果については、「話すこと・聞くこと」で95%以上、「読むこと」「言語事項」において85%程度の平均正答率を示しています。しかし「書くこと」において、75%程度の平均正答率となっています。

相手の意見を受けて自分の考えを書く指導を一層充実させることが求められるとともに、国語辞典に掲載されている語句の配列順序を選択する問題が出題されていますので、今後の指導にあたっては、語彙を豊かにするために「辞書を引く」指導の積み重ねが大切です。本市小学校では調べた語句に付せんを貼り、積み重ねを実感させる実践例も見られます。辞書が子どもたちの側にあり、いつでも使える言語環境として整備されているかを再確認することが必要です。

国語A



【主語と述語とを照応する】

「主語を置き換えて記事の下書きを直す」ことについては課題が見られました。主語の変化によって述語を受動態に書き換えることの理解が不十分で、「いっしょに」などの誤答例がありました。主語と述語の関係を的確に表現させる指導が必要です。

【新聞記事を効果的に読む】

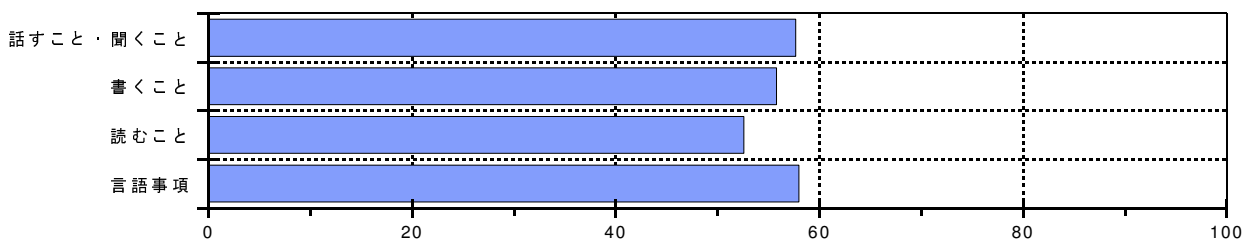
「新聞記事の構成の説明」は高い平均正答率を示しています。新聞記事を積極的に教材として活用し、見出し・リード・本文の構成理解と、それぞれの内容の具体的な違いやコラム、社説等の特徴を指導することが今後も必要です。

国語B「主として活用に関する問題」の結果

領域ごとの調査結果については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」で、55%程度の平均正答率を示しています。

「学級会の話し合いの場面」「あいさつ運動の提案に対して児童会だよりで回答する場面」等の設定のもとに出題されています。今後の指導にあたっては、国語科で育成された言語能力が十分に発揮されているか、学校行事、特別活動等、教育活動全体において子どもの言語生活を見直し、指導の充実を図ることが求められます。

国語B



【目的や意図に応じて計画的に話し合う】

司会として意見の相違点についてまとめることに特に課題が見られます。話し合いの進め方について交流する場面を設定し、大切なポイントを押さえながら指導していくことが必要です。

【伝記を読んで自分の考えを深める】

「評伝」と「自伝」の書き手の違い、書き表し方の特徴を捉え、両者を比べて読む指導が求められます。また、「書くこと」との関連を図り、自分の生き方を振り返って随筆に書くなどの指導も必要です。

中学校国語について

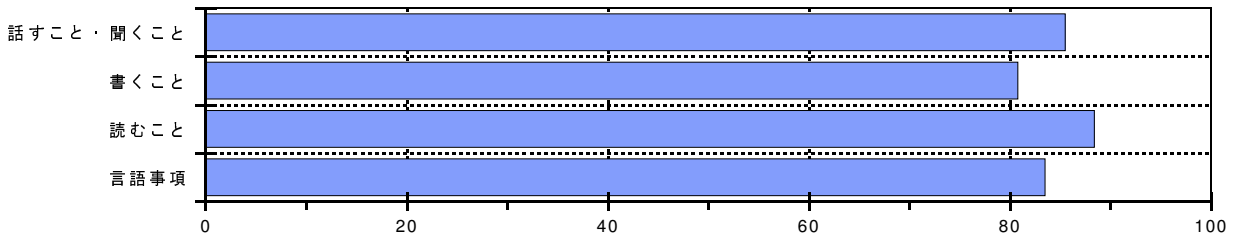
※本市のデータは、市学力対策委員会の採点によるものである。

国語A「主として知識に関する問題」の結果

領域ごとの調査結果については、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」で85%程度、「書くこと」で80%程度の平均正答率を示しています。

「生徒会だよりの文章を推敲する」では、図表の提示や読み手に必要な情報を伝える文章に書き直す出題があります。今後の指導にあたっては、「学校祭の案内文を書く」「図書館だよりの書く」「保護者会の案内状を作成する」など、ねらい達成のための適切な言語活動を工夫し、指導していくことが求められます。

国語A



【文学的な文章を読む】

「登場人物の心情について考える」ことについては課題が見られました。内面の変化を、一つの叙述から単純に読み取っている誤答例がありました。前後の複数の叙述から推移を読み取るための指導が必要です。

【楷書を書く】

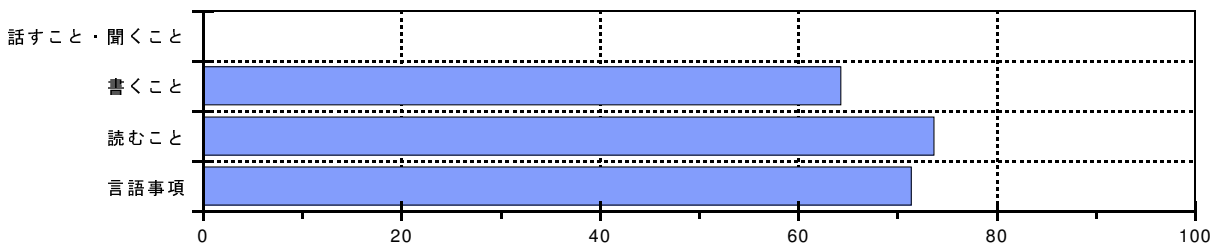
「行書を楷書で書く」ことについては、「てへん」の誤答例が見られました。書写指導において、「くさかんむり」「りっしんべん」「のぎへん」など、漢字の楷書と、行書の点画の省略・連続、筆順の違いを理解させる必要があります。

国語B「主として活用に関する問題」の結果

領域ごとの調査結果については、今回「話すこと・聞くこと」の出題はなく、「読むこと」「言語事項」で70%程度、「書くこと」で65%程度の平均正答率を示しています。

各大問内に1題程度、複数の条件にあわせて100字程度で書かせる記述式の問題が出題されています。今後の指導にあたっては、多様な条件に応じて記述する機会を一層増やしていくことが求められます。

国語B



【説明的な文章を読む】

「Q&Aの形式で、分かったことを紹介する」ことについては表現形式についての理解不足が見られました。提示された形式に合わせて適切に要約することが求められます。箇条書きやA4判1枚、プレゼンテーションソフトのシート形式等の工夫をしながら、目的意識を持たせる説明文指導が求められます。

【本の表紙や帯などの文章を読む】

「一冊の本を選択し、理由を書く」ことについては、4つの条件に応じて自分の体験や読書経験と結びつけて書くことが不十分でした。求められている条件を正確に把握するとともに、体験とそれに基づいた意見の表現方法の違いを具体的に指導することが必要です。